

# 床会式 「性能指向型施工要領書」の 概要とその目的

日本床施工技術研究協議会(横山裕会長)により策定作業が進められ、2021年11月に「パイロット版」が公表された「床会式性能指向型施工要領書」。所定の性能の床をつくるために妥当な施工方法を示すものとしてまとめられたもので、必要な材料の質や労力が把握でき、延いては工事価格の適正化につながることも期待されるが、このほど「パイロット版」に一部修正が加えられたものが、“正式版”として制定されるに至った。

本特集では、「床会式性能指向型施工要領書」の制定目的と意義を、昨年5月号に続きあらためて解説いただくとともに、要領書活用のイメージや今後の展開についても紹介する。

編集部

## 床会式性能指向型施工要領書の制定と活用例 および今後の課題

東京工業大学 教授

横山 裕

— 36 —

## 床会式性能指向型施工要領書の コアコンピタンス

東海大学 教授

横井 健

— 41 —

## 床会式性能指向型施工要領書

- ① 床下地施工編 ————— 45
- ② 養生編 ————— 50
- ③ 張り床材施工編 ————— 53
- ④ 塗り床材施工編 ————— 58